（別紙５）

（様式１）

**「スマート農業産地形成実証」実証課題提案書**

（※赤字は記載例です。）

**１．実証課題の概要**

**（１）提案する実証課題名**

|  |
| --- |
| ○○に基づく○○による○○体系の実証 |

**（２）実証グループ（コンソーシアム）の名称（予定）**

|  |
| --- |
| ○○農産スマート農業実証コンソーシアム |

**（３）産地形成に向けたスマート実証を提案する地域及び実証課題の概要 *（400 文字程度）***

|  |
| --- |
|  |

（注１）産地形成をどのように実現するのか、そのためにどのようなスマート技術を導入するのか等について記載してください。

**（４）実証グループに参画する生産者の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 母体となる経営体 | 株式会社○○農産 |
| 経営体の代表 | 代表取締役 農林 太郎 |
| 所在地 | ○○県○○市○○丁目○○番地○○号 |
| 経営概要 |
| ① 経営面積及び作目 | ○○ｈａ（うち、大豆○○ｈａ、キャベツ○○ｈａ） |
| ② 主な雇用体制 | 社員○名、パート・アルバイト○名 |
| ③ 直近の売上げ | ○○万円（20XX年○月～20XX年○月） |

**（５）実証を行う農場の概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 実証を行う面積 | ○○ｈａ |
| 実証を行う作目 | 露地野菜（○○○○：○○ｈａ） |

（注１）実証を行う現場がわかるよう、圃場の図面と圃場を含めた周辺の風景写真を添付してください。

（注２）全ての経営面積を実証に当てない場合、実証を行う農場の経営分析が行えるよう、当該分の売り上げやコストについて把握してください

**（６）実証グループの体制**

**① 実証代表者**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| (ふりがな)氏 名 |  | 役職 |  |
| 所属機関・部署名 |  |

**② 進行管理役**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| (ふりがな)氏 名 |  | 役職 |  |
| 所属機関・部署名 |  |

（注１）**実証代表者**は、実証課題の実施計画の企画立案、実施、成果管理を総括する実証課題の代表者です。**農研機構からの連絡を日常的に受けることが可能**で、その連絡事項を実証グループ構成員に速やかに伝達可能な者としてください。必ずしも**代表機関の長である必要はありません**。

（注２）進行管理役は、実証課題の進行管理及びデータ収集・提出の責任者であるとともに、今後の地域のスマート農業の発展を支援する役割を担う者です。**本実証課題へのエフォート率が低くなるような者は選任しない**でください。

　**③ 実証グループの構成機関**

|  | 　機関名（支所等名まで記載） | 　メンバーとする理由、主な役割（簡潔に記載）（注１） |
| --- | --- | --- |
| 代表機関 |  |  |
| 生産者（注２） |  |  |
|  |  |
|  |  |
| 必須参画機関 |  |  |
| 共同実証機関 |  |  |
|  |  |
|  |  |
| 実証管理運営機関（注３） |  |  |

（必要に応じて行を追加・削除）

（注１）それぞれの構成機関をメンバーとする理由及び役割分担を簡潔に記載してください。

（注２）スマート農業機械やオペレーター等を共同利用する複数の生産者による取り組みが対象です。なお、産地を形成する農業団体（ＪＡ（部会）、集落営農等）が、法人化された集落営農（共同経営のもの）の場合には単独の取り組みを可とします。また、サービス事業体や農業コントラクタを活用する場合、複数の生産者とともにこれらの参画を必須とします。

（注３）実証グループ内に、代表機関以外の他の者へ資金を配分するための経理事務体制等が十分に整っている機関等が存在しない場合、代表機関に代わって、経理執行業務を担う機関（実証管理運営機関）を実証グループ内に設けて、そこが資金配分等に係る事務を行うことができます。また、そうした実証管理運営機関の経理執行業務に必要な経費についても委託費の対象となります。

**２．実証課題の目的（審査項目１「目標等」関係）**

**（１）実証課題を実施する背景及び課題**

|  |
| --- |
|  |

（注）実証テーマの背景が分かるように記載してください。

**（２）実証課題の達成目標**

**① 成果目標**

|  |
| --- |
| １．作業集約又はシェアリングを効果的・効率的に進めるための目標２．生産者における生産コスト低減、収量・品質向上等についての目標３．産地における経営全体の改善についての目標 |

（注）「成果目標」は、上記１～３について、それぞれ１つ以上の定量的目標を必ず定めてください。

**② 目標値設定の考え方**

|  |
| --- |
| １．作業集約又はシェアリングを効果的・効率的に進めるための目標２．生産者における生産コスト低減、収量・品質向上等についての目標３．産地における経営全体の改善についての目標 |

（注）「目標値設定の考え方」は、①で掲げた成果目標の根拠について、計算方法等を含め具体的に記載してください。

**３．実証内容（審査項目２「技術内容の適格性」関係）**

**（１）実証する技術と考え方**

|  |
| --- |
|  |

（注１）産地形成に向け実証する技術について、具体的に記載してください。

（注２）産地形成に係る課題解決の考え方や技術の導入方針を具体的に記載してください。

**（２）実証するスマート農業技術の概要** 作目：○○

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 技術内容 | 機械・技術名（型式等） | 技術または機械を提供する企業または研究機関 | 台数 | 実証規模 | 実証概要 | 個別技術の目標 | 導入コスト（想定） | 既存・新規の別 |
| 耕うん・整地 | 自動運転トラクタ（A-123） | （株）○○農機 | 1 | ○ha | １haのほ場において、自動運転トラクタと有人トラクタで同種の作業を同時に実施し、旋回、調整等を含めた作業能率の向上を実証。 | 作業能率を1.5倍に向上させることで、1haに要する作業時間を3時間以上削減。 | 9,700,000円 | 新規 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 栽培管理 | ○○システム |  | 1 | ○ha | ・・・・・・・・ | ・・・・・・・・ | ○○○円 | 既存 |
| 収穫 | ○○収穫ロボット |  | 1 | ○ha | ・・・・・・・・ | ・・・・・・・・ | ○○○円 | 新規 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注１） 「技術内容」は、生育ステージの順に、今回産地形成に向け導入・実証するスマート農業技術について記載してください。

（注２） 「機械・技術名」は、複数ある場合は全て記載し、型式等がある場合は記載してください。

（注３） 「実証規模」は、生産段階の技術では実証に参加するすべての生産者の合計実証面積（ha）を、その他の技術では実証規模が分かる単位で記載してください。

（注４） 「実証概要」は、現在、産地形成に向け地域が抱えている課題に対して、機械または技術を導入してどのような実証を行うのかを具体的に記載してください。

（注５）「個別技術の目標」は、実証する機械または技術により目指す目標を具体的に記載してください。

（注６） 「導入コスト（想定）」は、導入する機械・技術が既に販売されている場合は販売価格、今後販売される場合は想定価格を記載してください。

（注７） 「既存・新規の別」は、今回の実証課題において、新規に機械等を導入する場合は「新規」、既に保有する機械等を用いる場合は「既存」と記載してください。

**（３）経営・栽培管理システム等の概要**

|  |
| --- |
|  |

（注）実証にあたっては、経営や栽培等のデータを管理するソフトウェア（経営・栽培管理システム等）を利用することを必須とします。利用する具体的なソフトウェア及びそれをどのように活用するか概要を記載してください。特に農作業日誌記帳に利用する営農管理システム等については必ず記載してください。

**（４）実証する技術やサービスの先進性・有効性・優位性・実効性**

|  |
| --- |
|  |

（注）実証する技術体系やサービスの先進性・有効性・優位性・実効性について、従来の技術体系と比較するなどしてわかりやすく記載してください。

**４．実証計画（審査項目「計画の妥当性」関係）**

**（１）実証課題のスケジュール**

**令和４年度**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実証項目 | 実施機関 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| １．推進会議 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２． シェアリングによる可変施肥実証 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１）センシング用ドローンシェアリングによる生育マップ作成 | （株）○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２）可変施肥機シェアリングによる肥料の精密散布 | ○○農産 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３． 病害発生情報の共有による防除時期最適化実証 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１）・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２）・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３）・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ４．・・・・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１）・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２）・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３）・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**令和５年度**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実証項目 | 実施機関 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| １．推進会議 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２． シェアリングによる可変施肥実証 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１）センシング用ドローンシェアリングによる生育マップ作成 | （株）○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２）シェアリングによる肥料の精密散布 | △△農産 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３．・・・・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１）・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２）・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３）・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ４．・・・・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （１）・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （２）・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （３）・・・・・・・・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注）目標達成に向けた実証項目の設定をお願いします。

* 予算成立後、令和４年４月以前に実証を開始する意向がある場合はチェックを付けてください。

**（２）技術の効果分析に必要なデータ及びその収集方法**

|  |  |
| --- | --- |
| 調査項目 | データ収集方法 |
| 生育量 | GPSとNDVIカメラを搭載したドローンによるセンシング。葉色をマップ化し、営農・栽培管理システム○○に集約。 |
| 環境データ（気温、日射量） | フィールドセンサーによるセンシング。営農・栽培管理システム○○に自動集約。 |
| 作業時間・内容 | 自動運転トラクタの作業データを営農・栽培管理システム○○に自動集約。それ以外のデータは手入力。 |
| 施肥量 | マップベース可変施肥機の作業データ。営農・栽培管理システムに集約。 |
| 収穫量（重量、品質） | 光センサー選果機でほ場毎のデータを収集。営農・栽培管理システム○○に集約。 |
| 販売データ | 実需の○○システムで得られた需要データと、出荷予測システムのデータ、出荷実績を集約。 |
| 作業集約 | 作業集約面積。 |
| シェアリング | 導入機械等の最大稼働面積・時間、サービス料の価格水準（試算値）。 |
| 収益性向上 | 収益性向上に関して設定した目標の達成状況に関するデータ。 |

（注１）技術の効果の分析に必要な調査項目を記載してください。収集するデータは、採択後に農研機構と調整することがあります。

（注２）生産者段階での技術導入に係るデータのほか、今回設定した目標達成に向け必要な技術導入に係るデータについても記載してください。

**（３） 機関・年度別事業費総額**

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 機関 | 令和４年度 | 令和５年度 | 合計 | 備 考 |
| （代表機関）○○研究所 |  |  |  |  |
| （生産者）（株）○○農産 |  |  |  |  |
| （共同実証機関）○○農業機械(株) |  |  |  |  |
| （実証管理運営機関）○○○○ |  |  |  |  |
| 合 計 |  |  |  |  |

**（４） 経費の区分・年度別事業費の内訳（全体）**

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 経費の区分 ※注１、２ | 令和４年度 | 令和５年度 | 合 計 | 備 考 |
| 直接経費 |  |  |  | ※注３ |
|  | 人件費 |  |  |  | 実証代表者エフォート○％ |
| 謝金 |  |  |  | 外部有識者謝金 |
| 旅費 |  |  |  | 東京～千葉（○回）※注４ |
| 機械・備品費 |  | － |  |  |
| 試験研究費 |  |  |  |  |
|  | 消耗品費 |  |  |  | 部品等 |
| 印刷製本費 |  |  |  |  |
| 借料及び損料 |  |  |  | リース、レンタル、バス借上げ等 |
| 光熱水費 |  |  |  |  |
| 燃料費 |  |  |  |  |
| 会議費 |  |  |  | 推進会議等の開催費、会場借料※注５ |
| 賃金 |  |  |  | 実証補助 |
| 雑役務費 |  |  |  | システム改良・保守など |
| 一般管理費 |  |  |  | ※注６ |
| 消費税相当額 |  |  |  | ※注７ |
| 合計 |  |  |  |  |

（注１）経費の内訳は、委託業務研究実施要領に記載の「委託経費の対象となる経費」に従って記載してください。

（注２）各経費は、消費税（10％）込みで記載してください。

（注３）営農に要する費用は計上できませんので、ご注意ください。また、施設園芸ハウス、畜舎、選果場等の施設整備に係る費用、農業水利施設、農道、圃場等のインフラ本体の整備に係る費用も計上できません。

（注４）経営データの収集法等のプロジェクト実施に必要な手続きについての説明会、実証計画の検討や評価を行うための会議、プロジェクト成果をPRするためのイベントを合わせて年７回程度東京都内で開催することを計画しています。実証代表者または進行管理役にはこれら会議等に出席していただきますので、必要な旅費等を計上してください。新型コロナ感染症の状況によっては、リモート開催となる可能性もありますが、東京都内での開催を前提に計上してください。

（注５）代表機関は年３回以上推進会議を開催していただきますので、必要に応じて会議費を計上してください。

（注６）一般管理費は試験研究費の１５％以内とします。一般管理費の使途は本事業に関連したものに限定とします。

（注７）消費税等相当額は、消費税課税事業者のみ消費税相当額を計上し、直接経費のうち非課税取引・不課税取引・免税取引に係る10％に相当する額を計上してください。具体的には、「人件費及び謝金」の10％に相当する額を計上してください（人件費のうち派遣業者からの派遣研究員に係る経費は課税対象経費のため対象外）。また、「人件費及び謝金」以外に非課税・不課税・免税取引を予定する場合は、把握できる範囲で計上してください。なお、地方公共団体・免税事業者の非課税団体等については計上できません。

**（５） 経費の区分・年度別経費の内訳（機関別）**

**機関名**○○研究所

1. **各年別事業費の内訳**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 経費の区分 | 令和４年度 | 令和５年度 | 合　計 | 備　考 |
| 直接経費 |  |  |  |  |
|  | 人件費 |  |  |  | ②に概要を記載 |
| 謝金 |  |  |  | ③に概要を記載 |
| 旅費 |  |  |  | ④に概要を記載 |
| 機械・備品費 |  | － |  | ⑤に機械・備品の内訳を記載 |
| 試験研究費 |  |  |  |  |
|  | 消耗品費 |  |  |  | ⑥に概要を記載 |
| 印刷製本費 |  |  |  | ⑦に概要を記載 |
| 借料及び損料 |  |  |  | ⑧に概要を記載 |
| 光熱水費 |  |  |  | ⑨に概要を記載 |
| 燃料費 |  |  |  | ⑩に概要を記載 |
| 会議費 |  |  |  | ⑪に概要を記載 |
| 賃金 |  |  |  | ⑫に概要を記載 |
| 雑役務費 |  |  |  | ⑬に内訳を記載 |
| 一般管理費 |  |  |  |   |
| 消費税相当額 |  |  |  |   |
| 合計 |  |  |  |  |

（注）（２）経費の区分・年度別経費の内訳に準拠して機関ごとに記載。

**② 人件費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

※ 人件費は、研究員等の年間の全勤務時間のうち本事業が占める割合を、給与規程や賃金台帳に基づき算出された人件費等の単価に乗じた額としてください。なお、各コンソーシアム構成員において、実勢に応じた単価を設定している場合には、単価の設定基準を明確にしていただき、農研機構で、構成要素等の精査を行います。その結果、人件費以外の経費が含まれる場合には減額を行います。

**③ 謝金の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**④ 旅費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑤ 機械・備品費の内訳**

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 機械・備品の名称（メーカー・規格等） | 数量（単位） | 単価 | 合計 | 使用目的 |
| 自動運転トラクタ（(株)○○農機・A-123） | 1（台） | 9,700 | 9,700 | 耕起・整地、運行状況のデータ取得等 |
| ドローン（(株)○○・B-456） | 2（台） | 2,500 | 5,000 | 作物の生育状況のセンシング、農薬散布等 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 合 計 | － | \*\*,\*\*\* | \*\*,\*\*\* |  |

（注１）各年別事業費総額内訳の「機械・備品費」の内訳を記載してください。併せて、機械・備品の部品代等の金額の根拠となる積算の詳細を記載してください。

（注２）本事業の実証で使用するもので、原形のまま比較的長期の反復使用に耐え得るもののうち、取得価格が１０万円以上の物品とします。なお、ファイナンスリースの場合は、リース期間を耐用年数と同期間とし、実証期間を超えるリース期間については、自費での契約としてください。本来ならば、機械・備品のリース物品は借料・損料で計上しますが、ここでは機械・備品費の内訳としてリース物品等と分かるように記載してください。複数取得する場合は、購入数量（単位）が複数必要な理由も記載してください。

（注３）**スマート農機と認められない従来の機械類（例：直進アシスト機能等の無い一般的なトラクタ、ロータリ等の以前から市販されているアタッチメント、自動環境制御機能等を有さない一般的な施設用冷暖房装置など）の購入に要する費用は計上できません。**

（注４）トラクタ１式というような記載はせず、個別に計上してください。例えば、自動運転トラクタと、それに装着する可変施肥機であっても１式とはせず、個別計上してください。

（注５）機械・備品費は、原則、初年度（令和４年度）に計上してください。また、計上していない機械・備品の購入は、原則、認められません。

（注６）汎用性の高い備品（パソコン、フリーザー、タブレット、スマートフォン、スマートウォッチ等）は、計上できません。ただし、導入するスマート農業技術の運用・制御のために特殊用途で専用的に使用され、システムの一部として不可分に組み込まれるパソコン等は対象とすることが可能です。

（注７）導入するスマート農機等は、実証のためのデータを得るのに必要最小限のセット数としてください。必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

（注８）機械・備品費の総額が１億円を超えるような場合は、普及可能性などを勘案し、原則として対象となりません。

**⑥ 消耗品費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑦ 印刷製本費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑧ 借料及び損料の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑨ 光熱水費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑩ 燃料費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑪ 会議費の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑫ 賃金の概要**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**⑬ 雑役務費の内訳**

※ 必要性が認められない場合、申請額は削減されます。

**（６）参画機関の概要**

各機関の代表者名、住所等（実際に事業を実施する支所等ごとに作成）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 代表機関 | 機関名 |  |
| 所在地住所 |  |
| 実証代表者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| e-mail |  | エフォート | （％） |
| 実証実施責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| e-mail |  | エフォート | （％） |
| 経理統括責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| e-mail |  | エフォート |   |
| 経理責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| e-mail |  | エフォート |  |
| 業務概要 |  |
| 財務状況 | 年度 | 平成　　年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 |
| 当期純利益（千円） |  |  |  |
| 資本金（千円） |  |  |  |
| 純資産（千円） |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 生産者 | 組織名 |  |
| 所在地住所 |  |
| 代表者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 生産管理責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| e-mail |  | エフォート | （％） |
| 経理責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| e-mail |  | エフォート |  |
| 財務状況 | 年度 | 平成　　年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 |
| 当期純利益（千円） |  |  |  |
| 資本金（千円） |  |  |  |
| 純資産（千円） |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 共同実証機関 | 機関名 |  |
| 所在地住所 |  |
| 実証実施責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| e-mail |  | エフォート | （％） |
| 経理責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| e-mail |  | エフォート |  |
| 業務概要 |  |
| 財務状況 | 年度 | 平成　　年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 |
| 当期純利益（千円） |  |  |  |
| 資本金（千円） |  |  |  |
| 純資産（千円） |  |  |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実証管理運営機関 | 機関名 |  |
| 所在地住所 |  |
| 実施責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| e-mail |  | エフォート | （％） |
| 経理責任者 | ふりがな氏名 |  | 役職名 |  |
| 所属 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| e-mail |  | エフォート |  |
| 業務概要 |  |
| 財務状況 | 年度 | 平成　　年度 | 令和　　年度 | 令和　　年度 |
| 当期純利益（千円） |  |  |  |
| 資本金（千円） |  |  |  |
| 純資産（千円） |  |  |  |

（注１）実証代表者と経理統括責任者、実証実施責任者と経理責任者、生産管理責任者と経理責任者、実証管理運営機関については実施責任者と経理責任者、経理統括責任者と実証実施責任者は、それぞれ別の者である必要があります。

（注３）電話番号、FAX 番号、e-mail アドレスは半角文字で記載してください。

（注４）生産者、共同実証機関が複数ある場合は、様式を追加してください。

（注５）財務状況は、直近３年度の財務諸表から該当する金額を記入してください。地方公共団体、国立大学法人、独立行政法人、個人の農林漁業者、国立研究開発法人等に係る財務状況の記入は不要です。

（注６）事業費の配分を行わない場合には、経理責任者及び財務状況の記入は不要です。

（注７）実証管理運営機関の項目は、該当する場合のみ記載してください。

**５．実証グループの実績等（審査項目４「実施体制」関係）**

**（１）現に実施又は応募している公的資金による研究開発**

|  |
| --- |
| （記載例）研究代表機関：◯◯◯・研究代表者名：○○○○○費（○○省）、「・・・に関する技術開発」（2012 ～ 2016、研究費：○,○○○千円）・・・・・・・・・・・・・・・・（研究成果・内容、本研究計画との違い）○○助成費（○○省）、「・・・に関する研究」（申請中）（2016 ～ 2019、研究費：○,○○○千円）・・・・・・・・・・・・・・・・。（研究内容、成果、本研究計画との違い）・研究員名：○○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。共同研究機関：◯◯◯・研究実施責任者名：○○○　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。・研究員名：○○○　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。  |

（注）現に実施あるいは応募している公的資金で今回提案する実証計画と関連する研究開発がある場合には、今回応募する実証代表者のほか、代表機関及び共同実証機関の者ごとに、制度名、研究計画名、実施期間及び予算額、その研究内容・成果を簡潔に記載するとともに、本委託事業の実証計画と明確に区別できることを記載してください。

**（２）これまで受けた研究費とその成果**

|  |
| --- |
| （記載例）（１）研究機関名：◯◯◯　　研究者名：○○○○○費（○○省）、「・・・に関する技術開発」（2012 ～ 2016、研究費：○,○○○千円）・・・・・・・・・・・・・・・・（研究成果・内容）（２）研究機関名：◯◯◯　　研究者名：○○○○○費（○○省）、「・・・に関する技術開発」（2012 ～ 2016、研究費：○,○○○千円）・・・・・・・・・・・・・・・・（研究成果・内容） |

（注）今回応募する実証代表者のほか、代表機関及び共同実証機関がこれまでに受けた公的資金による研究開発のうち、近年の主要なものを５件以内で記載してください。

**６．技術の普及（審査項目５「波及性」関係）**

**（１）実証する技術の普及可能性**

|  |
| --- |
|  |

（注）導入・活用が見込まれる作目や産地・地域、将来の機械の販売台数やシステムの普及見込みを示すことなどにより、実証の成果がどの程度幅広い地域に波及するかを具体的に記載してください。

**（２）実証課題終了後の実証地域における普及についての考え方**

|  |
| --- |
|  |

（注）実証した技術について、産地・地域において誰がどのように普及するのか、技術体系を広げていく人材をどのように育成していくか等について具体的に記載してください。

**７．みどりの食料システム戦略の該当性（審査項目６「行政ニーズ」関係）**

|  |  |
| --- | --- |
| みどりの食料システム戦略の取組 | 該当の有無 |
| 資材・エネルギー調達における脱輸入・脱炭素化・環境負荷軽減の推進 | 　持続可能な資材やエネルギーの調達 |  |
| 　地域・未利用資源の一層の活用に向けた取組 |  |
| 　資源のリユース・リサイクルに向けた体制構築・技術開発 |  |
| イノベーション等による持続的生産体制の構築 | 　高い生産性と両立する持続的生産体系への転換 |  |
| 　機械の電動化・資材のグリーン化 |  |
| 　地球にやさしいスーパー品種等の開発・普及 |  |
| 　農地・森林・海洋への炭素の長期・大量貯蔵 |  |
| 　労働安全性・労働生産性の向上と生産者のすそ野の拡大 |  |
| ムリ・ムダのない持続可能な加工・流通システムの確立 | 　持続可能な輸入食料・輸入原料への切り替えや環境活動の推進 |  |
| 　データ・AIの活用による加工・流通の合理化 |  |
| 　長期保存、長期輸送に対応した包装資材の開発 |  |
| 　脱炭素化、健康・環境に配慮した食品産業の競争力強化 |  |
| 環境にやさしい持続可能な消費の拡大や食育の推進 | 　食品ロスの削減など持続可能な消費の拡大 |  |
| 　消費者と生産者の交流を通じた相互理解の促進 |  |
| 　栄養バランスに優れた日本型食生活の総合的推進 |  |

1. 実証する内容で該当すると思われるものに○をしてください（複数可）。

**みどりの食料システム戦略に資する取組（任意記載欄）**

|  |
| --- |
|  |

**８．その他**

**（１）実証グループによるコンソーシアムの設立見込み（設立方式及び設立可能時期）**

実証グループによるコンソーシアムを設立する場合の設立方式や設立可能時期について記載してください。

　　設立方式：

　　設立可能時期：

　　　　（注）**予算執行には、コンソーシアムが設立されている必要**がありますので、可能な限り課題採択までの設立をお願いします。

**（２）契約書に関する合意**

　国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構から提示された委託契約書に記載された条件に基づいて契約することに異存がない場合は、以下の文章を記載してください。

**「○○ ○○（代表機関の契約権限のある者の氏名）」は、実証計画「○○○○○の実証」の契約に際し、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構より提示された委託契約書及びデータ提供契約書に記載された条件に基づいて契約することに異存がないことを確認した上で、提案書を提出します。**

**（３）同意事項の確認**

提案する実証計画が採択された場合、以下の項目について異存がない場合は、項目についてチェックを入れてください。

□ 実証計画の調整・実施に当たり、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（以下「農研機構」 という。）の指導・助言に対し、速やかに対応を行うこと。

□ 実証農場における営農管理や経営に関するデータについて、農研機構に提供すること。

□ 進行管理役は、本実証課題に十分専念できる者となっていること。

□ 他地域からの見学や研修等には、営農及び実証課題の実施に支障のない範囲で積極的に協力すること。

（様式２）

**参画機関の特許権等への取組状況**

***原則Ａ４用紙１枚以内・必須***

|  |  |
| --- | --- |
| 実証計画名 |  |
| 代表機関名 |  | 実証代表者名 |  |
| 実証管理運営機関名 |  | 実証管理運営機関の実施責任者名 |  |

**（１）当該実証計画についての、成果の活用に係る方針、指針等の有無**

|  |
| --- |
|  |

**（２）各参画機関における職務発明規程の他、特許権等の管理指針、ポリシー、規程等の有無**

|  |
| --- |
|  |

**（３）実証グループにおける特許権等管理指針、ポリシー、規程等の有無**

|  |
| --- |
|  |

**（４）各参画機関における特許権等の担当部署や担当者、特許権等に関する問合せ窓口の配置（設置）の有無**

（様式３）

**主な指針等に関する対応について**

***Ａ４用紙１枚以内・必須***

|  |  |
| --- | --- |
| 実証計画名 |  |
| 代表機関名 |  | 実証代表者名 |  |
| 実証管理運営機関名 |  | 実証管理運営機関の実施責任者名 |  |

実証内容に照らし、遵守しなければならない指針等（該当するものを「■」としてください。）

□ 農林水産省の所管する研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針

　　https://www.maff.go.jp/j/kokuji\_tuti/tuti/t0000775.html

□ 農林水産省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」

　https://www.affrc.maff.go.jp/docs/attach/pdf/misbehavior-14.pdf

　（全参加機関に守っていただくことが、スマート農業実証プロジェクト応募の要件です。）

* 農林水産省所管の研究資金に係る研究活動の不正行為への対応ガイドライン

　　https://www.affrc.maff.go.jp/docs/pdf/tokekomi.pdf

　（全参加機関に守っていただくことが、スマート農業実証プロジェクト応募の要件です。）

□ 農業機械の自動走行に関する安全性確保ガイドライン

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/smart/attach/pdf/gl210326.pdf

□ 農業分野におけるAI・データに関する契約ガイドライン

　　https://www.maff.go.jp/j/kanbo/tizai/brand/keiyaku.html

　（全参加機関に守っていただくことが、スマート農業実証プロジェクト応募の要件です。）

（様式４）

**経理事務体制について**

***Ａ４用紙２枚以内・必須***

|  |  |
| --- | --- |
| 実証計画名 |  |
| 代表機関名 |  | 実証代表者名 |  |
| 実証管理運営機関名 |  | 実証管理運営機関の実施責任者名 |  |

**１．区分経理処理が行える会計の仕組みについて**

**（１）現在、区分経理処理が行える会計の仕組みが整備できていますか。**

※どちらかに○を付してください。

現在整備できている

現在整備できていない

**（２）その内容**

|  |
| --- |
|  |

**２．経理執行体制について**

**（１）現在の経理体制・職務内容**

|  |
| --- |
|  |

**（２）内部牽制について**

|  |
| --- |
|  |

（様式５）

**管理運営機関を活用する理由書**

***Ａ４用紙１枚以内・該当実証計画のみ***

|  |  |
| --- | --- |
| 実証計画名 |  |
| 代表機関名 |  | 実証代表者名 |  |
| 実証管理運営機関名 |  | 実証管理運営機関の実施責任者名 |  |

**（理　由）**